

腹部超音波検査室に最新の超音波診断装置を導入しました

超音波検査は、無害で痛みを伴わず繰り返し受けることのできる検査です。検査では掌よりも少し小さな超音波発信器を体に当て、戻ってきた信号を臓器の形としてテレビ画面に映し出し（魚群探知機の原理を応用）病気の有無を探します。

さて宇陀市立病院では、腹部超音波検査室に昨年10月から最新の超音波診断装置東芝製Xario（エクサリオ）を導入いたしました。これにより不鮮明であった小さな腫瘍はさらに鮮明に描出でき、最近話題となっている動脈硬化の検査もできるようになりました。

●腹部超音波検査室では次のような検査を行っています。

〈腹部〉肝・胆・膵・腎・脾・腹部大動脈・消化管など

見つかる疾患：良性・悪性腫瘍の有無、脂肪肝、胆石、腹部大動脈瘤など

〈体表〉乳腺・甲状腺・唾液腺・皮下腫瘍など

見つかる疾患：良性・悪性腫瘍の有無、唾石、



ガングリオン、脂肪腫など

〈血管〉頸動脈・手足の静脈、動脈など

見つかる疾患：血栓、閉塞性動脈硬化症、エコーミークラス症候群など

超音波検査では検査する部位によって絶食をお願いしています。

〈腹部〉朝食（午後の場合は昼食）は取らないでください。お薬、お水は飲んでいただいてもかまいません。

〈体表〉絶食の必要はありません。

〈血管〉絶食の必要はありません。

絶食の理由は？

胆のうは食事をすると収縮します。胆のうや肝臓の病気でも、胆のうが収縮する場合があります。そうすると胆のうの収縮する原因が病気によるものか、食事によるものか区別ができなくなります。また、胃の裏側にある膵臓も食事により観察しにくくなるからです。

検査の予約は？

各診療科より主治医が予約します。希望日時は予約時に主治医へご相談ください。

（臨床検査科）

◆内科外来診察のご案内◆

（平成19年5月～）

●初診外来を行っています

従来、内科初診の方には、待ち時間についてご迷惑をおかけしておりましたが、診察をスムーズに行うため、内科の初診外来を行っています。



診療科	月	火	水	木	金	土
内科一診	椎木	矢崎	林	椎木	林	担当医
内科二診	榎本	杉原	杉原	矢崎	丸山	担当医
内科三診	城井	西谷	椎木	城井	山路	担当医
内科四診				林		
	第2月曜 （予約制） 午後2時～3時 ペースメーカー外来 （矢崎）	毎週火曜 （予約制） 午後2時～3時 腎臓外来 （椎木）	毎週水曜 （予約制） 午後2時～4時 （丸山）			

栄養サポートチーム勉強会を実施

3月28日、栄養サポートチームによる勉強会を開催しました。

皆さんは、NST（Nutrition Support Team：栄養サポートチーム）という言葉をご存じでしょうか。

人は口から食べ物をとってそれを栄養として生きています。しかし、その食べるという当たり前のことが、抗がん剤の副作用で食欲がない、脳卒中の後遺症で飲み込むことができないなどの状態になった時に、どうすればよいのでしょうか。

入院中の患者様にこういった事が起きた場合、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師などの各専門スタッフがそれぞれの知識や技術を出し合い、その原因や栄養状態を把握し適切な栄養投与によって全身状態の改善を行います。

アメリカでは、総合病院の約半数にNSTが設立されています。日本は立ち遅れていましたが、ようやく栄養管理の重要性が認識されるようになり、今、全国の医療施設で次々にNSTが立ち上がっています。

勉強会には近隣地域医療機関の従事者にも参加していただき、共に患者様の栄養サポートを進めていきたいと考えています。

